

The background features several faded images of industrial machinery: a large crane arm extending from the top left towards the center, a circular metal chuck with 'Kitagawa', 'STANDARD CHUCK', 'BR08', and '1900250' markings in the top right, and a complex metal component with a circular opening in the bottom center. On the right side, there is a vertical structure resembling a tower or a stack of platforms.

itagawa

honesty

and

courage

Kitagawa Company Profile

株式会社 北川鉄工所

〒726-8610 広島県府中市元町77-1

Tel. (0847)45-4560(代表) Fax. (0847)45-0589

第11版 2025年7月24日
<https://www.kiw.co.jp/>

honesty and courage

素直な心と勇氣

honesty and courage

それは、“お客様第一主義のものづくり”を大切にしてきた私たちの変わらない思いです。

「honesty」とは、生来の純粋さに加えて、先入観にとらわれることなく、

真実を見抜き惑わされない力強い“素直な心”。

そして「courage」とは、事に動じない受動的な度胸にとどまらず、

自ら変化を起こすため能動的に行動する“勇氣”。

お客様へ最高の価値を提供することにこだわり、時代に応じて変化を遂げてきたkitagawa。

その原点である“素直な心と勇氣”をもって、私たちはこれからも質の高い

“ものづくり”を実践してまいります。

企業ビジョン

株式会社北川鉄工所はものづくりという業にあって

お客様の喜びを我々の喜びとし、

素直な心を尊び、勇氣ある行動を敬い、

自己実現の場として自律した活力あるリーダーを育成し、

技術を誇り、未知なる世界に挑戦する

Quality Businessを実践する集団である。



キタガワ
グローバル ハンド
カンパニー
Kitagawa Global hand Company

工作機器事業
ワークホールディングの
開発・製造・販売



スタンダードチャック
BRシリーズ

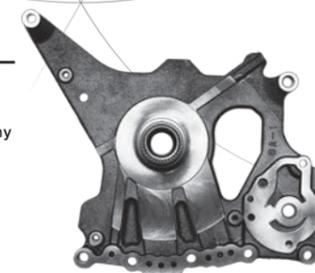
kitagawa の事業基盤

3つの独自性

Collective strengths based on 3 identities

キタガワ
マテリアル テクノロジー
カンパニー
Kitagawa Material Technology Company

金属素形材事業
金属素材・鋳造技術の開発、
鋳造品の製造・販売



フロントサポート

キタガワ
サン テック
カンパニー
Kitagawa Sun Tech Company

産業機械事業

コンクリートプラント、建設機械、環境関連機器、
自走式立体駐車場の開発・製造・販売



ビルマン

honesty and courage

独自性と総合力で臨むソリューション

高い独自性を誇る、kitagawaの3つの事業分野。
 それぞれが特徴と強みを活かし、多彩な製品群を社会に送り出してきました。
 また、事業間を融合したプロジェクトも積極的に取り組んでおり、今後の飛躍を目指して
 新たな可能性を常に追求し続けています。
 事業の独自性と企業としての総合力。kitagawaはこの2つの強みで
 社会のソリューションに貢献します。

ものづくりを知る目で、世界基準の成長へ

飛躍的に進むテクノロジー、めまぐるしく変わる価値観。世界は激動しています。
 こうしたなか、私たちkitagawaは経営ビジョンPlusDecade2031に「世界基準の成長の
 実現」を目標に掲げ、培った開発・技術力に研鑽を重ねるとともに新たな取り組みを始めています。
 まず事業面では、既存と新規それぞれの分野を活性化し、両者の連携による発展を目指します。
 主事業については、工作機器では自動化・省人化といった製造工程の動向に即した製品の開発と
 市場投入を進め、産業機械に置いてはリードタイムの短縮・自動化・遠隔操作などへ向けた研究
 開発や環境ビジネスに取り組んでいます。金属素形材では対象を自動車産業から半導体・
 ロボットなどの成長分野へひろげ、新素材の開発にも着手しました。また、海外ではインドでの
 チャック製造やメキシコをはじめ各国での営業人材育成など拠点強化に努め、M&Aにより進出
 した半導体分野での更なる進化と既存事業とのシナジー効果の発揮を目指し、ソフトウェア
 開発などの新分野へも積極的な展開を図ります。
 一方、経営品質や人材育成についても、ITやAIの活用によるDX戦略、地域・世界との共生、将来
 に備えた人材能力の開発、労働環境の整備などを拡充しつつあります。
 こうして私たちは、ものづくりの最前線を熟知した目で自身をみつめ、サステナブルに社会と
 共生する企業の姿を求めつつ世界基準の成長実現へと挑み続けています。これからの
 kitagawaに、どうぞご期待ください。



代表取締役社長
 岡野 帝男

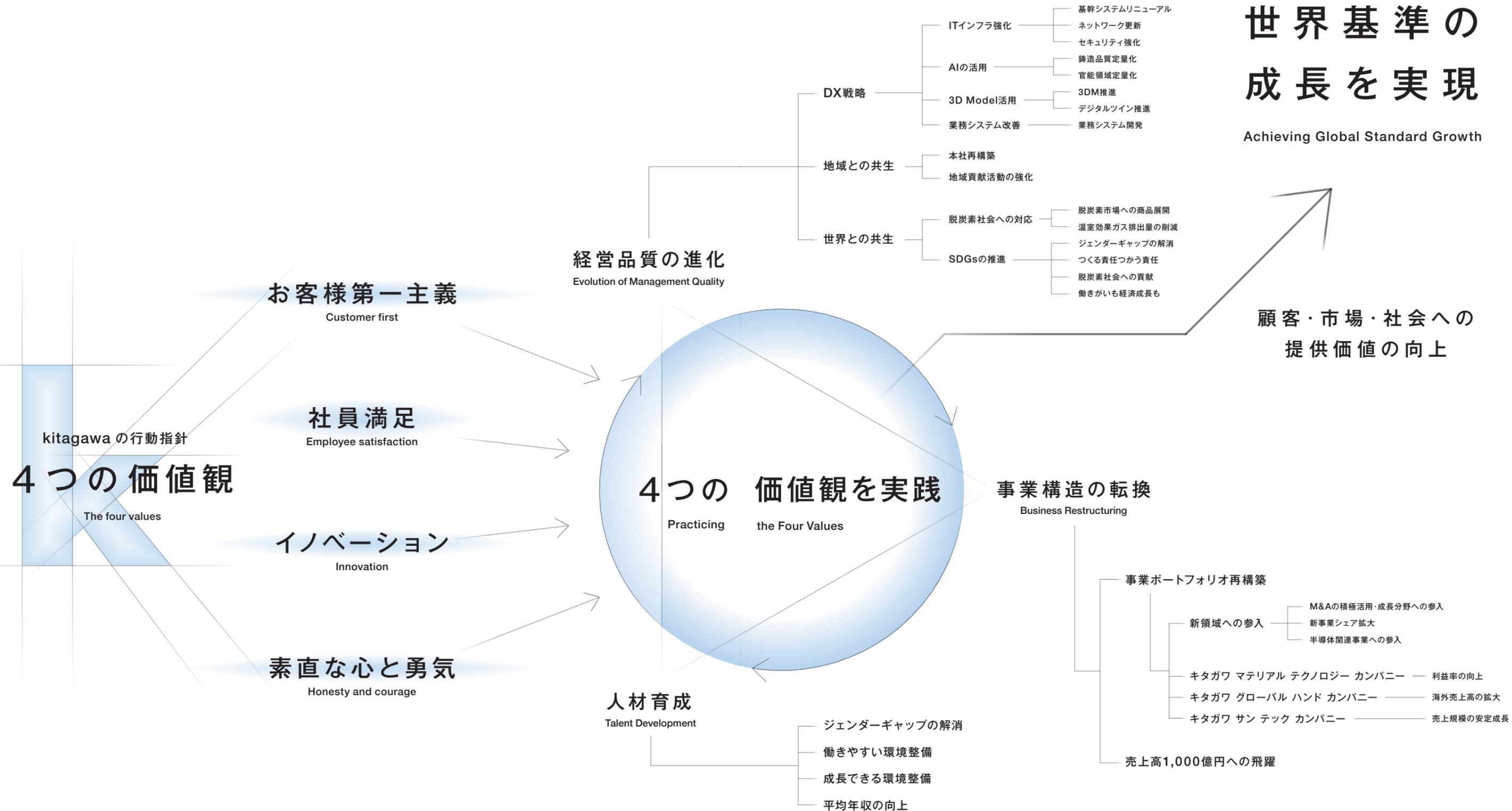


Plus Decade 2031

4つの価値観を実践し、世界基準の成長を実現する

世界基準の成長を実現

Achieving Global Standard Growth



honesty and courage

知性と強さを活かした新規事業

知性と強さ。その両方を、kitagawaはものづくりに注いできました。
 積み重ねた技術を応用する知識。従来のものにとられない強さ。
 これらにより画期的なノウハウを生み出し、お客様と感動を分かち合いたい。
 その思いの実現がkitagawaの新規事業の根源であり、目標でもあります。

高水準の技術と独創性で、新たな“最高”を

お客様にとっての真の“最高”を追求し続ける。
 このビジネスポリシーの実現に向けて、kitagawaは新規事業を推進しています。
 そこで課題となるのが、より高水準な技術の開発や社会のニーズに即した独創性。
 その克服に向けて各事業分野がノウハウを持ち寄り、産学官や他分野とのコラボレーションも取り入れて
 新たな“最高”を追い求めています。
 こうして、あらゆる力を集結させた“総合力”を大いに発揮し、kitagawaは未来に前進します。

FA関連機器

Factory automation equipment



近年、製造業におけるFA(Factory Automation)化の進展にともなって産業用ロボットの需要が伸びています。そこでkitagawaは、チャックで培った“ものを掴む”技術を活かし産業用ロボット専用グリッパを開発。さらに、チャックのジョー交換を自動化するシステムもご提案することで、人手不足の解消や生産性の向上に大きく貢献いたします。
 kitagawaは、FA領域への参入を通じて、製造業のさらなる発展をサポートしてまいります。

半導体関連事業

Semiconductor equipment



グループ企業の北川グレストック(株)では、半導体のCMP(化学的機械研磨)やラップ研磨装置・消耗品の製造販売と受託加工を行っています。kitagawaはこれまで製造機器メーカーとして半導体業界を支えてきましたが、独自技術である精密研磨や自動化装置の設計製造をキーワードに、主力事業のひとつとするべく半導体関連事業を拡大し、さらなる市場貢献を図ってまいります。

環境関連機器

Environmental equipment



資源・エネルギー分野における新たな挑戦として、ミキシングや成型をコア技術とした環境関連機器事業を展開しています。その取り組みは、廃棄物の効率的なリサイクルの実現にとどまらず、資源の有効活用、あるいはエネルギー利用など多様なニーズに応えています。これからもkitagawaは、環境関連機器事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。

医療関連機器

Medical equipment



医療の研究開発を目的として、宇宙実験を模擬的に再現する微小重力細胞培養装置。微小重力環境における細胞研究の支援を行なっています。さらに、今まで困難であった細胞の“濡れ”を評価する濡れ性評価装置は、医療だけでなく様々な産業分野に応用することも可能です。
 これからもkitagawaは独創的な機器の開発を進め、新事業を創出します。

キタガワ
グローバル ハンド
カンパニー

工作機器事業

私たちの商品をお使いいただくことで、お客様に感動を覚えていただける…
カンパニービジョンの“with HANDS, with SURPRISE!”は、そうした思いのあらわれです。
その実現のため、ものづくりのトレンドとお客様のニーズを的確にとらえた高品質な商品を、
レスポンスよくグローバルにお届けする。
私たちは、これからもこの姿勢のもとで事業の拡充を図ります。

kitagawa Global hand Company

with HANDS, with SURPRISE!



advancement 商品開発型事業へのシフト

お客様の多様なニーズに応じるため、培った技術を基盤とした魅力ある商品バリエーションを確立。高精度化・自動化に向けたシステムをはじめとした新たな商品を積極的に市場投入し、タイムリーにお客様へお届けします。それにより、私たちは各参入市場でのシェアNo.1を目指します。



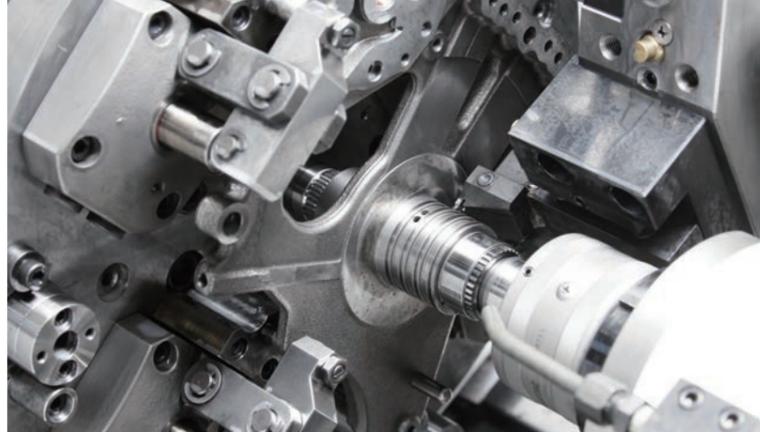
global 世界的な事業展開

国内市場に加えてグローバルへと市場を拡張。世界に展開したサービスネットワークによって、お客様へのより高いレスポンスを実現します。
また、世界各国の市場において現地のお客様への販売を強化します。



commitment 妥協のない品質

高品質の商品は優れたプロセスが生み出す。その信条のもと、私たちは営業・技術・製造のすべてのプロセスで品質を追求し、たとえば生産・検査の自動化や省人化を積極的に推進しています。各参入市場において品質・性能面でもリーディングカンパニーを目指します。



chuck & cylinder

チャック&シリンダ

あらゆるニーズに対応できる豊富なバリエーションと独自ノウハウで、最適なワークホルディングを提案する世界的標準商品。



スタンダードチャック
BRシリーズ



薄型デュアルロックチャック
DLRシリーズ



中空ブロックチャック
PUBシリーズ



中空回転油圧シリンダ
SRシリーズ

customized chuck

カスタマイズチャック

あらゆるニーズに対応し、量産加工機械用から特殊専用機械用、引込み把握からフェイスクランプなど、最適な把握方法を選定し、卓越した技術で品質および生産性向上に寄与します。



シールドグリッパ



測長グリッパ



クイックプレートチェンジグリッパ



クイックジョーチェンジグリッパ



ロボットハンドチェンジャー

gripper

グリッパ

Innovationをテーマに進化し、新たな価値を創造し続ける産業用ロボットハンド。



NC rotary table

NC円テーブル

高クランプトルクと高精度、高剛性。確かな技術が生み出すkitagawaのNC円テーブル。加工の幅を広げる多彩なアプリケーションに対応。



ストロング&コンパクトNC円テーブル
MKシリーズ



超コンパクトNC円テーブル
CK(R)シリーズ



高速割出NC円テーブル
RK201



傾斜NC円テーブル
TTシリーズ



2軸傾斜NC円テーブル
TW2180



ローラギヤカム傾斜NC円テーブル
RKT500

mechanical power vise & clamper

メカニカルパワーバイス&クランプ

メカ増力機構で安定した締付力を発揮。機械加工領域を最大限に確保できるコンパクトボディ。



ウォーターカッター



摩擦接合機



ライトマシニングセンタ



カーボンプロ



ロボット加工ユニット

specialized machinery

特殊工作機械

超高圧水で切断加工するウォーターカッター。多品種・多形状の金属を接合可能とする摩擦接合機。軽金属・樹脂・木製品の加工に最適なライトマシニングセンタ。CFRPの穴あけ・トリミング加工を行う、カーボンプロ及びロボット加工ユニット。切断・切削・接合に特化し、お客様のニーズに対応した装置をご提案します。

キタガワ
サン テック
カンパニー

産業機械事業

コンクリートプラント、タワークレーン、環境関連機器、自走式立体駐車場…
手がけるのは、ニッチではあるけれども陽が輝く分野。それがカンパニー名の由来です。
私たちは、それぞれの分野で高い技術力を誇り、国内でのトップシェアを競っています。
これからも、各分野のリーディングカンパニーとして独創性と技術力を向上させ、
お客様のご期待を凌駕する商品をお届けできるよう、挑み続けます。

陽が輝く分野への挑戦

kitagawa
**Sun
Tech
Company**



criteria 独自の基準による綿密なチェック

私たちが携わるのは、社会のインフラに関わる大規模な設備の構築。そのチェックにあたっては、工程・品質・コスト管理などをまず担当者が評価し、さらにカンパニー内の設計審査会が独自の基準によって細かく、総合的に審査します。こうした綿密さが、お客様との信頼と絆を強めていきます。



presentation 実機による検証

綿密な審査を経た商品は、お客様の立ち合いによるプレゼンテーションで機能と安全が確認されます。このプレゼンテーションは、用途ごとに処理物や仕様が異なる環境関連機器では特に重要な意味を持ちます。こうした十分な検証の後に商品は納められます。



ecology 環境プラントによる社会貢献

私たちは、長年にわたり社会インフラの整備で活躍するコンクリートプラントやタワークレーンを供給しています。そして、その培われた技術は、地球規模の環境変化が予測される中、災害復旧、さらには脱炭素社会の構築に向けた革新的な製品開発へと進化し続けています。

recycle plant

環境プラント

工場や建設現場で発生する副産物、災害廃棄物の再資源化や処理などのニーズに対し、実証試験、設計・施工、メンテナンスまでを一貫体制で取り組んでいます。



ベレック (移動型環境プラント)

コンパクトなユニット型プラントで、車載運搬が可能。建設現場などで発生する汚泥・残土のオンサイト処理を実現。輸送コスト・処理コストの削減が可能に



ベレガイア (混練造粒機)

環境プラントの核となる機械です。攪拌・混練・造粒と3つの機能を1台に凝縮



ベレメイク (ペレット製造装置)

廃材や間伐材の木質チップをはじめ、あらゆる分野から発生する材料をペレット化します。バイオマスハンドリングおよび輸送・貯蔵効率の改善に最適



フォーミル (もみ殻成形機)

もみ殻を固形燃料化し、バイオマス資源としての可能性を広げます。成形により、ハンドリングや輸送・貯蔵効率が飛躍的に向上。



concrete plant

コンクリートプラント

コンサルティングから周辺設備も含めた設計・製造・設置まで、多様なニーズに対応します。また、業界に先駆けた定期点検システムを導入し、熟練スタッフが着実なメンテナンスにあたります。



ジクロスNEO (シャフトレスミキサ)

コンクリートを強力に混練するプラントの心臓部。シャフト部を螺旋アームにしたことで、極限の性能と簡易なメンテナンスを実現



計量制御盤

安心と使い易さを求めた操作盤



construction machinery

建設機械

ビル建設用のクライミングクレーンの代名詞としてビルマンは市場から強い信頼を寄せられており、大型機種は次世代機種としての高い評価を受けています。また、橋梁建設向けのクレーンは大型プロジェクトに参画し、インフラ整備事業に貢献しています。



低床式ジブクレーン

要求された機能を集約することで、本四連絡橋をはじめ数々の橋梁架設現場で採用されました



ジャイロマスター

吊荷制御により、建設現場の安全性と生産性の向上を図ります



施設併用型

立体駐車場と施設が一体化したタイプ



スーパーロングスパン

車室の柱をなくした安全でストレスフリーな乗降が可能なタイプ

multistory car park

自走式立体駐車場

施設ごとの用途や階層などに応じて、多彩なラインナップを誇る自走式立体駐車場。お客様の要望に応じて、安全性と使いやすさ、デザイン性までも追求した製品をご提案します。

kitagawa Material Technology Company

キタガワ
マテリアル テクノロジー
カンパニー

金属素形材事業

多様な鋳造技術をコアに、自動車や農業機械、建設機械業界に向けて部品を製造・供給する私たちは、さらなるお客様からの期待に応えるため、歩を進めております。

その目標はカンパニー名に託され、「マテリアル」は素材分野、「テクノロジー」は加工・設計・ユニット開発での拡大・成長を意味しています。

そして、その名のごとく素材開発から加工の一貫体制を活かした受注も増えてきました。

この状況を拡充すべく、私たちはこれからも事業の発展に努めます。

素材と技術で創る金属の付加価値



regionality 消費地近接の拠点展開

海外需要の増加に応え、メキシコに子会社を設け、量産体制を構築しています。お客様に近い場所で、技術や品質管理等のノウハウが日本と共有され、鋳造から加工の一貫生産による高付加価値商品を日本と同様のクオリティでお届けしています。



development 素材開発力

カンパニー名の「マテリアル」が示すように素材の開発も大きなテーマに掲げています。たとえば、耐腐食性と加工性に優れた特殊材質KSC（キタガワスーパーカッタ）、同じく優れた加工性と引張強度をあわせもつ鋳鉄KS550や、耐摩耗性に優れた材質など、多様なニーズに応える開発力が評価されています。



approach 一貫生産を活かした提案力

汎用品から高付加価値商品までを供給しています。また、私たちが培ってきた素材開発・加工・組み立てのノウハウや一貫生産を活かした提案力も強みのひとつであり、お客様のあらゆるニーズにお応えしています。

farm machinery

農業機械部品

フライホイールハウジング

産業用エンジン部品



フライホイール

産業用エンジン部品



ブレーキケース

トラクターの足回り部品



construction machinery

建設機械部品

スイングブラケット

建設機械のアーム取り付け部品



トラックローラ

建設機械の足回り部品



ハウジング

建設機械の足回り部品



デフケース

厳しい内部欠陥基準があり、高精度加工技術が要求される作動機構構成部品



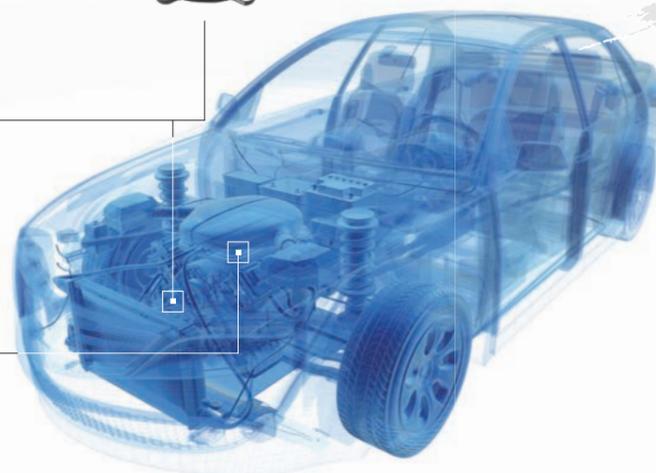
センターサポート

薄肉・高精度のFF6速ATミッション部品



バランスシャフト

ひずみや内部欠陥がNGの難易度が高いエンジン部品



国内外の拠点から
部品を供給

福山工場 下川辺工場 中須工場
東京工場 北川冷機 KMX

鑄造プロセス Casting process

生型プロセス Greensand mold casing process

一般的な砂型による鑄造方法。大物・小物に対応したライン設置による生産性向上で低コスト化を実現。特殊材質の大量生産も可能です。

プロダクトライン：福山工場 下川辺工場
東京工場 KMX



トラックローラ



センターサポート

エバフォームプロセス Eva-foam casting process

発泡スチロール製の模型を使い、砂型では難しい複雑形状の鑄造にも対応可能。寸法精度に優れ、バリもありません。また、製品の軽量化も図れます。

プロダクトライン：中須工場



ローター(20~30kg)



産業用ロボット部品(152kg)

加工プロセス Machining process

キタガワ グローバルハンドカンパニー(工作機器事業)とのタイアップにより、お客様のニーズに応じた設備で加工した完成品をご提供。付加価値の高い商品をお届けする、kitagawaの強みを活かしたプロセスです。

プロダクトライン：福山工場 東京工場
北川冷機 KMX



デフケース



ブレーキケース



フロントサポート

automotive

自動車部品

kitagawa our history

培われた歴史。未来への前進。

kitagawaのものづくりは、まさに100年以上におよぶ試行錯誤の積み重ね。

私たちの技術はそこで蓄積され、独自性を築き、時代のニーズにあわせて発揮されてきました。

その根底にいつもあったのは、ものづくりへの真摯な思いです。

こうした時代への機敏さとこだわりを貫く強さが、kitagawaの歴史を培ってきました。

その姿勢を大切に、私たちはこれからもお客様第一のものづくりのために前進を続けます。



機帆船に用いる手巻きウインチ。船の帆を張るロープを巻き上げる機械。鋳物工場を建て、滑車の芯となるベアリングを製造し始めたことを契機に、滑車の部品だけでなく手巻きウインチもつくるようになった。ものを「吊る」技術は現在のクレーン技術へと繋がっていく。



創業。そして、苦境を乗り越え、成長と拡張。

1918年、kitagawaは北川船具製作所として創業。好景気に乗って事業を拡大し、

1941年に株式会社北川鉄工所を設立しました。

その後は日本経済の高度成長に伴って拡大・拡張を続けますが、

1960年代の東京オリンピック後と1970年代のオイルショックでは苦境も経験。

時代と共に歩んできました。

機帆船の帆を巻き上げる木製滑車。第一次世界大戦中、創業者・北川実夫の父・北川条一が製造を始めた。後に北川実夫が改良を重ね、この木製滑車は業界でも名が知れるほどになった。



1918.03 故 北川条一が木造船用補機製造販売の目的をもって広島県御調郡下川辺村大字河面に北川船具製作所を創業

1919 故・名誉会長 北川実夫が北川船具製作所へ入社

1924.06 鋳物工場、機械工場を増設し、一貫作業をもって生産増加と技術の向上を企図し、新たに鋼船用船具及び船舶、鉱山、土木建設用巻上機の製造販売を開始

1936.12 業績の伸展に伴い用地、人的資源、その他の要請により芦品郡広谷村(現在 府中市)に工場を新設し、従来の製品に加え工作機械器具の製造販売を開始

1941.11 株式会社北川鉄工所を設立

1943.10 陸海軍管理工場の指定を受け、船舶主機、補機及び兵器を生産

1947.03 産業機械器具、船舶用機械の製造販売及び医療施設事業を開始

1954.07 土木建築および鉄骨橋梁工事請負事業を開始

1955.05 米国のミーハナイト・メタル社と技術提携し、ミーハナイト鋳物の製造販売を開始

1957.01 ミーハナイト鋳物工場を新設

1957.02 日本工業規格(JIS)の第5131号・スクロールチャックの表示許可工場となる

1960.09 店頭販売承認銘柄として、株式を広島地区店頭にて売買を開始

1961.04 私立北川工業高等学校を設立

1961.07 社団法人日本鋳造技術協会より、シェルモールド鋳物の特許実施権を獲得してシェルモールド鋳物の製造販売を開始

1961.08 上場売買承認銘柄として、株式を広島市場に上場

1961.09 日本工業規格(JIS)の第8255号・動力ウインチの表示許可工場となる

1962.02 本社および工場を現地に新設移転

1962.08 上場売買承認銘柄として、株式を東京・大阪第一部市場に上場

1962.09 各種鋳物・建設機械・鉄骨工事の製造及び請負を目的として埼玉県大宮市(現・さいたま市)に東京工場を新設

1966.05 スウェーデンのバラスインターナショナル社と技術提携し、ホルテックスミキサの製造販売を開始

1967.04 パワーチャックの開発

1968.04 鋳造部門の増強を図るため広島県府中市中須町に中須工場を新設

1969.04 本社工場の鋳造部門を統合充実するため、広島県府中市篠根町に下川辺工場を新設

1969.11 建設機械・工作機械器具・プレハブハウスの製造を目的として和歌山県橋本市に和歌山工場を新設

1969.12 プレハブハウス・宅地造成販売を目的として住宅事業本部を新設

1970.04 中空チャックの開発

1971.02 西独の Hoffman 社と技術提携し、割出装置の製造販売を開始

1971.03 プレハブハウスの製造を目的として広島県世羅郡甲山町(現・世羅町)に甲山工場を新設

1973.10 超軟弱地盤(ヘッドロ)改良機の製造販売を開始

1976.05 深層軟弱地盤改良機の製造販売を開始

1977.09 西独のフォルカルト社とフロント中空エアチャックの技術提携を行う

1979.08 キタガワフォルカルト社を設立し、工作機械器具の輸入販売を開始

1980.11 米国のクッシュマン社と油圧チャック、その他の販売提携を行う

1981.03 チャック専用工場として本山工場を新設

1984.06 ロストワックス鋳造品の製造販売を開始

1984.07 西独のザウラー・アルマ社と技術提携し、パワーバイスの製造販売を開始

1985.09 事業部制へ移行

1987.03 クライミングクレーン「ビルマンシリーズ」の製造販売を開始

1987.08 英国にKITAGAWA EUROPE LTD.を設立し、工作機械器具の輸入販売を開始

経営基盤の確立。グローバルなkitagawaへ。

1980年代以降は、自動車部品やタワークレーン、パワーチャックなど現在のkitagawaの柱となる商品を手掛け、本格的なグローバル展開もスタート。

苦境時の経験を活かし、それに負けない経営基盤づくりに乗り出します。

同時にkitagawaブランドを確立・強化し、2018年にはカンパニー制を導入。

これからの事業成長への道のりが、着実に築かれてきました。

そして、未来へ――

kitagawaを代表する商品のひとつ、パワーチャック。国内市場のトップシェア60%を誇り、世界的なブランドとしても定着している。



- 1988.10** KITAGAWA U.S.A.,INC.を米国イリノイ州シャンバーグ市に設立し、パワーチャックの標準型本体及びプランジャーの生産を開始
- 1989.12** KITAGAWA MANUFACTURING EUROPE LTD.を英国ソールズベリー市に設立し、NC旋盤用パワーチャックの現地生産を開始
- 1990.04** パワーバイスがグッドデザイン賞を受賞
- 1991.04** 自走式立体駐車場「PARKING²」の製造販売を開始
- 1991.11** エバフォーム(消失模型鑄造)による生産を開始
- 1992.02** MIM(金属粉末成形焼結品)による生産を開始
- 1994.10** ユニットハウス「ユニロック」の製造販売を開始
- 1995.02** チャック、シリンダ、NC円テーブルにおいてEN規格適合の認証を取得
- 1997.12** KITAGAWA SALES (THAILAND) CO.,LTD.をタイ・バンコクに設立し、工作機器、建設機械、生コンクリート関連製品他の販売を開始
- 1999.03** 建設機械部門と工作機器部門においてISO9001の認証を取得
- 1999.06** リサイクルプラントの製造販売を開始
- 2000.03** コンクリートミキサ ISO9001の認証を取得
- 2001.04** 日本建機株式会社の株式取得
- 2001.12** 会社設立60周年 Decade Plan 2011を発表
- 2003.01** 素形材部門においてISO14001の認証を取得(下川辺工場、中須工場)
- 2003.02** KITAGAWA(THAILAND)CO.,LTD.をタイ・チョンブリーに設立し、鑄造品を供給開始
- 2003.04** 素形材部門においてISO9001の認証を取得(2000年版)
- 2005.11** 中国駐在事務所を開設
- 2006.04** シンガポールに駐在所を開設('09.02 支店開設)
- 2006.10** 住金物産株式会社の子会社Northtech Inc.に資本参加し、KITAGAWA-NORTHTECH INC.として工作機器の販売を開始

- 2007.04** 日本建機株式会社と当社コンクリートプラント営業部門を統合、事業形態を再編し、販売会社K&Kプラント株式会社として事業を開始 東京工場鑄造ライン新設
- 2008.04** 金属素形材の中核生産拠点として福山工場を新設
- 2009.04** K&Kプラント株式会社を吸収合併 上海北川鉄社貿易有限公司を設立 執行役員制度の導入
- 2010.12** 北川(瀋陽)工業機械製造有限公司を設立
- 2011.11** 会社設立70周年 Next Decade Plan 2021を発表
- 2012.02** KITAGAWA MEXICO S.A.de C.V.をメキシコ合衆国に設立
- 2015.09** 医療関連機器・微小重力環境細胞培養装置「Zeromo」を開発
- 2017.11** グリッパがグッドデザイン賞を受賞
- 2018.03** 創業100周年を迎える
- 2018.04** 各事業にカンパニー制を導入
- 2018.06** 株式会社AileLinXを設立
- 2018.12** 新型スタンダードチャック「BRシリーズ」(通称「BRチャック」)を販売開始
- 2019.09** BRチャックが精密工学会ものづくり賞を受賞
- 2020.07** 素形材部門においてIATF16949の認証を取得(福山工場)
- 2020.10** ロボットハンド「NPGT_Sシリーズ」が超モノづくり部品大賞「機械・ロボット部品賞」を受賞
- 2021.11** 会社設立80周年 Plus Decade 2031を発表
- 2022.04** 完全子会社であった株式会社吉舎鉄工所を吸収合併 BRチャックとTnut-Plusに関する技術が日本機械学会賞を受賞
- 2023.07** システム精工株式会社とケメット・ジャパン株式会社の株式を取得し、完全子会社化
- 2024.04** システム精工株式会社とケメット・ジャパン株式会社を合併し、北川グレステック株式会社を設立
- 2025.04** KITAGAWA TECHNOLOGY INDIA PVT.LTD.をインド・カルナータカ州に設立

会社概要 2025年3月末時点

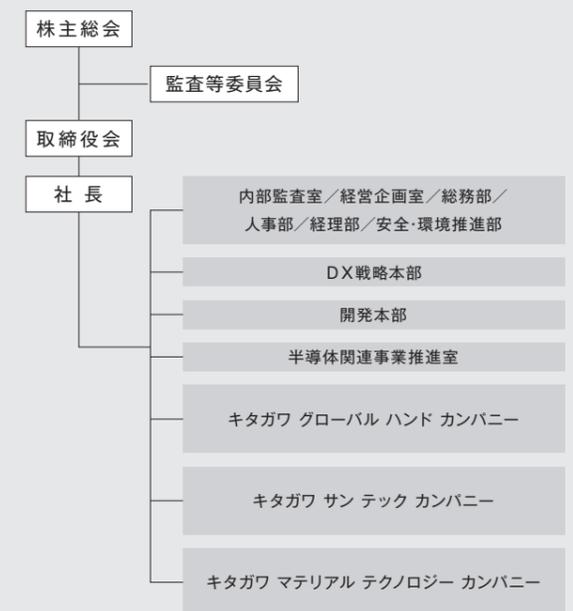
商号	株式会社 北川鉄工所 Kitagawa Corporation
本社	〒726-8610 広島県府中市元町77-1
設立	昭和16年11月28日
代表者	代表取締役社長 岡野 帝男
資本金	86億4,000万円
従業員数	2,275人(単体:1,410人)
市場区分	東証スタンダード市場
決算日	3月31日



役員

代表取締役 会長	北川 祐治
代表取締役 副会長	北川 宏
代表取締役 社長執行役員	岡野 帝男
社外取締役	西川 三佐子
社外取締役	杉口 安弘
社外取締役(常勤監査等委員)	野上 武志
社外取締役(監査等委員)	貝原 潤司
社外取締役(監査等委員)	平 浩介

組織図



kitagawa company information